

西田 勝 編・解題

田岡嶺雲全集 第四卷

評論及び感想 四

ISBN 978-4-588-11029-0 C1395

第五回配本／四六判・上製クロス装・貼箱入／906頁／定価（本体17,000円＋税）

本巻は1904年11月『中国民報』の主筆を辞して上京し、雑誌『天鼓』を創刊してから、中国・蘇州で病を得て帰京し、転地療養を経て日光で没する五ヶ月前の1912年4月までに発表された評論及び感想を収録。『壺中観』や『霹靂鞭』が発売禁止になるなど、表現の自由を重く拘束される中で、隠喩や逆説、イロニーを多用し、狭義の文芸評論を超えて、人種的・社会的・性的格差のない世界共同体、とりわけ女性の解放をめざした論考が多数含まれる。

主要目次 近松物に現はれたる心中——不自然なる社會の犠牲／文明と人類の墮落／鏡花の近業／作家ならざる二小説家（夏目漱石と木下尚江）／顯れたる名、隠れたる功（河口慧海と能海寛師）／近代思想の一缺陷／藝術は果して「眞」を要する乎／母乳論の道德的價値／女子解放は男子解放也／無當語／忠孝觀念の前途／韓非子評論／最後の別れを懷ふ（幸徳秋水）／自覺しつつある現代の女と其將來／『史記』の史書としての價値／戀愛は社會進歩の源なり／ほか。詳細な編注・解題を付す。



1908年9月初、大野病院で
（左から白河鯉洋、樋口龍峽、嶺雲、大野洒竹、笹川臨風）

次回配本は「第六巻 中国思想家・詩人伝」（2016年4月刊）を予定しておりますが、標題が変更になる可能性があります。

田岡嶺雲全集（全七巻）既刊 ———— ご注文部数

第一巻 評論及び感想 一（ 冊）

792頁／定価（本体12,000円＋税）

* 第一巻の在庫はオンデマンド版のみです。初版と内容は同じですが、造本および印刷方式が異なりますので、ご承知おきの上、お求め下さい。

第二巻 評論及び感想 二（ 冊）

872頁／定価（本体14,800円＋税）

第三巻 評論及び感想 三（ 冊）

876頁／定価（本体15,000円＋税）

第五巻 記録 伝記（ 冊）

830頁／定価（本体8,000円＋税）

〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-3 法政大学出版局 TEL03-5214-5540 FAX03-5214-5542

田岡嶺雲全集 第四巻（ 冊）

ISBN 978-4-588-11029-0 C1395 定価 18,360円（本体17,000円＋税）

注
文
書

お名前： _____
ご住所： _____
お電話： _____

書店名・
番線